

クラス番号	914	ゼミタイプ	地域研究型
		担当教員名	火口 弥生
テーマ	生活のしづらさに対する支援を学ぶ～多様性の理解から～		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

2016年4月施行の「障害者差別解消法」により、一人ひとりの困りごとに合わせた「合理的配慮」の提供が義務化されました。合理的配慮のためには、まず、当事者理解が不可欠です。生きずらさを感じている当事者の生活場面にアウトロくことで見えてくるものがあります。

本ゼミでは、以下の2つのテーマを掲げ、当事者と当事者を取り巻く環境の整備や支援方法を探ることを目標とします。

①色弱者の生活のしづらさの理解とカラーユニバーサルデザインについて

色覚（色の感じ方）は味覚や嗅覚と同じように実は人それぞれ異なっています。色による情報を正確に受け取れずに困っている人（色弱者）が多くいます。みんなに分かりやすい色について理解し、街や学内のカラーユニバーサルデザインについて考えていきます。

②認知症の方の生活のしづらさの理解と支援のあり方について

認知症の人は2010年時点で世界に3560万人であったが、2050年には1億3500万人に増えるとされています。まだ、治療法が確立されておらず、ケアのあり方が重要になってきます。ソーシャルワーカーを目指す立場で、一人一人を尊重したケア方法を模索していききたいと思います。

授業計画

【前期】

- ・カラーユニバーサルデザインについての事前学習
- ・当事者へのインタビュー
- ・学内のカラーユニバーサルデザインの検証

【後期】

- ・認知症に関する事前学習
- ・デイサービスでの認知症ケアの実践

※実践の報告書作成とゼミ内プレゼンテーションの実施

※学外に出る場合の交通費など自己負担が少しでる可能性がありますのでご了承ください。

担当教員からのメッセージ



私は、大学卒業後、MSW、障害者施設や特養の生活相談員、介護支援専門員などを経て、現在は、名古屋市内で介護事業所を営んでいます。日々、一人一人の居場所と出番創りに取り組み、「まだまだできる！」を支援しています。

ゼミを通して、ソーシャルワーカーとしての自分の立ち位置を考えるきっかけにしたいだけだと思います。